

# ふれあい つうしん

No.138

2022.1.14



社会福祉法人  
板柳町社会福祉協議会

新年 あけまして  
おめでとうございます



板柳町公民館屋上から見える岩木山

## 令和3年度 板柳町社会福祉協議会防災体験研修会

11月29日板柳町公民館視聴覚室に於いて、防災体験研修会を行いました。参加者は社協役職員や赤十字奉仕団約30名で体調管理や消毒など十分に感染予防対策をした上で参加して頂きました。約3時間に渡り実技体験を交えながら防災についての見識を深めることができました。

### 内容

- ① 台風第9号災害におけるむつ市ボランティアセンターへ派遣 竹浪主事より報告
- ② ハイゼックスを使用した炊き出し訓練
- ③ 講義「備えていますか?非常用袋」  
一般社団法人コミュニティ・4・チルドレン 菅原清香氏より
- ④ 「災害の避難時に必要なもの」カードゲーム

むつ市で災害ボランティアセンターを設置し、県社協からの依頼で本会の竹浪主事が応援部隊として参加しました。「手伝いたい」ボランティアを募集し、「手伝ってほしい」被災者とつなぐ役割を担っています。現地調査、マッチング、用具機材の整理、送迎など様々なことを行い、真っ黒に日焼けして戻っていました。

炊き出し訓練は、ビニール袋（ハイゼックス）に生米と水分をいれ、空気を抜いて輪ゴムでしっかりと止めるところまでを参加者全員で行いました。この後大きな窓に入れて、炊き上がれば出来上がりとなります。



菅原清香氏

福祉・防災学習コーディネーターの菅原清香さんに講義をして頂き、「非常用持ち出し袋は備えていますか?」「皆さんはどんなものを持ち出しますか?」と参加者に声を掛けながら、「それぞれの年齢や立場で必要なものは違います。どんなものが必要かゲーム形式で考えていくかと思い、約2年半かけて防災ゲームを完成させました。」

た。」とお話しいただき、つづけてテーブル毎にカードゲームを行い、赤ちゃんや高齢者、ペットといった様々なキャラクターになって、それぞれが必要となる物を描いたカードを集めしていくゲームです。参加は「災害について考える良いきっかけとなった」「家にある非常用袋を確かめてみよう」などの声が聞こえました。皆さんも是非「災害時に必要なものリスト」を作成してみてはいかがでしょうか。

## 津軽広域社会福祉協議会連絡協議会職員研修会

11月9日田舎館村中央公民館において令和3年度津軽広域社会福祉協議会連絡協議会職員研修会が行われました。「災害VC（ボランティアセンター）における社協職員の役割」と題し、にいがた災害ボランティアネットワーク理事長李仁鉄氏を迎えて、情報を共有し災害に対する基本的な考え方など、平時から災害VCの運営などを学び活動できることを目的とした研修会に本会職員も参加致しました。

## 新年の御挨拶

皆様には、新しい年をどのようにお迎えになられたでしょうか。昨年もコロナに振り廻された一年でした。厳しくつらい日々を過ごされた方もおられたのではないか。幸いにも当社協におきましては、町民皆様の温かいご支援に支えられ、ここまで自粛を余儀なくされながらも、出来る限りの事業に取り組んで参りました。影響を受けた方々には心よりお見舞い申し上げます。幸いにも当社協により、社協をご利用いただいている方々、職員にも感染者を出すことなく過ごすことが出来たこと改めて感謝申し上げます。

本年もまた、コロナ感染予防対策を怠ることなく、明るい地域社会実現のため可能な限り事業を実施し、地域課題などに取り組み社協としての役割を果たして参りますので、皆さんの一層のご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。皆様方のご健勝とご多幸を祈念申し上げまして、新年のあいさつといたします。



炊き出しの準備の様子



炊き出しの準備の様子



カードゲームの様子

## ふれあい昼食会

原則一人暮らし高齢者を対象に、毎月1回交流を図るため実施しています。一時中止を余儀なくされていましたが、10月より再開いたしました。参加者の笑顔を見ることが出来ほっとしました。参加者の皆さんからも仲間と会えてうれしいとの声を頂いています。昼食はボランティアの「まじやめーず」の皆さんのご協力のもと提供しています。楽しいひと時を過ごせるように事業を進めていきたいと思います。詳しくは板柳町社会福祉協議会にお問い合わせください。



## 避難訓練

10月20日に公民館1階調理室より火災が発生したと想定して避難訓練を実施しました。シルバー人材センターの職員が消防団員に扮して消防にあたり、車椅子を利用している方が怪我をして逃げ遅れた場合を想定した避難も行いました。



避難訓練終了後には実際に消火器（中身は水）を使っての消化体験をしました。

## 献血にご協力ありがとうございます

12月2日板柳町公民館に献血バス（青森県赤十字血液センターの移動バス）が来ました。多くの献血者が訪れ献血にご協力くださいました。



コロナ禍でも輸血を必要としている人は大勢いますので、献血にご協力くださり本当にありがとうございます。次回もよろしくお願いいたします。

車いすの体験は、乗る方と操縦する方の両方を体験しました。「自走するのは速く走つたり、曲がりたいところで曲がつたり、止まりたいところで止まれる等自分の思い通りに動かせるが、誰かに押しでもう時はちょっとドキドキした」「押してあげる時は思った以上に緊張した」と感想を述べてくれました。

高齢者になるとだんだん視力が衰え目が見えにくくなり、細かい指先を使うことが難しくなってきます。特殊なゴーグルをつけて、指先が使いにくくなる手袋をはめてお財布から小銭やお札を簡単に出し入れできるか等を体験しました。

これまでに六月と七月の福祉教室で高齢者について学んできた児童たちが、疑似体験しました。今回使用した介護用ベットはリモコン式で高さを変えられ、頭だけ足だけを動かせるようにマット部分は3つに分割されています。

高齢者になるとだんだん視力が衰え目が見えにくくなり、細かい指先を使うことが難しくなってきます。特殊なゴーグルをつけて、指先が使いにくくなる手袋をはめてお財布から小銭やお札を簡単に出し入れできるか等を体験しました。

十一月九日板柳東小学校において疑似体験を実施しました。

これまでに六月と七月の福祉教

室で高齢者について学んできた児

童たちが、疑似体験しました。今

だけを動かせるようにマット部分

は3つに分割されています。

高齢者になるとだんだん視力が

衰え目が見えにくくなり、細かい

指先を使うことが難しくなってき

ます。特殊なゴーグルをつけて、

指先が使いにくくなる手袋をはめ

てお財布から小銭やお札を簡単に

出し入れできるか等を体験しまし

た。



## ちょっと脳トレ ひらがな穴埋め5文字クイズ

※ヒントを参考に考えてね。

(答えは6ページ職員メッセージ下にあります。)

問1	で	ど	け		ヒント	じかん
問2	お	し	ま		ヒント	おしょうがつ
問3	か	な	つ		ヒント	かわやうみで
問4	ぞ	こ			ヒント	ひやすはこ
問5	ど	し			ヒント	のりもの
問6	た	ご	や		ヒント	りょうり
問7	か	た	ご		ヒント	かんたんなりょうり
問8	こ	ち	う		ヒント	むしのこと

## ひとり親家庭の 中学3年生の皆様に 図書カードをプレゼントします

この春、中学校を卒業されるひとり親家庭の中学生3年生の皆さんに図書カード(2,000円分)を板柳町社会福祉協議会より贈呈します。

希望される本人または家庭の方は、印鑑および証明するもの(児童扶養手当証明書等)をご持参のうえ板柳町社会福祉協議会までお越しください。

### ◆対象となる世帯

令和4年3月に中学校を卒業される方を含む以下の世帯

- ・父子世帯
- ・母子世帯
- ・父母にかわって養育している世帯

### ◆贈呈期間

令和4年3月1日から3月31日  
午前9時から午後5時(平日)

### ◆贈呈場所

板柳町社会福祉協議会(公民館内)

### ◆問い合わせ先

板柳町社会福祉協議会 電話 0172-72-1161



板柳町在住の65歳以上の自立高齢者を対象に、認知症予防運動や生きがいづくりを目的に地域住民のふれあい交流の場として実施しています。参加者の皆さんからは「家から出でて運動や会話ができる、さっぱりする」など多くの声を頂いています。お気軽にお問い合わせください。

## ふれあいデイ (アクティビティ事業)



## 板柳町地域包括支援センター

不安や悩み ありませんか?

地域包括支援センターは地域で暮らす高齢者を介護、福祉、医療、権利擁護などさまざまな面からサポートするために設けられた相談窓口です。

高齢者が住みなれたまちで安心して暮らしていくように、みなさん、地域包括支援センターをご活用ください。

電話: 0172-79-2116

## 社会福祉実習生が来ていました



8月19日から9月20日までの1か月間、弘前学院大学社会福祉学部社会福祉学科三年工藤健資(けんすけ)さんが実習を行いました。

実習へ来る前はどんな気持ちでしたかと聞いたところ、不安で怖いし憂鬱だったと答えてくれました。以下は実習を終えての工藤さんの感想です。

実習に来る前は、実際の支援のサービス提供の内容や、どのような事に気をつけながら支援をするなど分からないことだらけでしたが、沢山の方々と接することが出来、配食サービスやワークサポート等を通して一人ひとりの状況にあった支援の内容は実際に接してみると理解できない部分があると学びました。それと、相手の自己決定の思いを尊重すること、クライアントが成長できるように援助するべきだとわかったことが出来ました。

今回、コロナ禍でありながらも受け入れて頂いた職員の方や地域住民の皆様によって貴重な体験をさせて貰いました。実習で学んだことを生かし地域に貢献する人材になりたいと思います。ありがとうございました。

## 社協会費にご協力 ありがとうございました

**総額 2,124,500円**

◆普通会費 1,796,500円

◆特別会費 316,000円

◆賛助会費 12,000円

会員の皆さんのご理解とご協力が、地域福祉活動を推進していくための貴重な財源となっております。

## 善意の窓

(敬称略受付順)

◆BAFORA会 10,000円

◆古川仕出し店 5,000円

## 事務局職員よりメッセージ

### 葛西 陽子

自分の笑顔に自信がありますか？毎日気持ちよく笑えていますか？笑顔1つで人の印象や幸福度は変わっていますよね。たとえ忙しい日々でも自然な笑顔がこぼれるように、表情を豊かにできるといいですよね。

### 齋藤 拓

新型コロナの影響でずいぶん社会が変わりました。オンラインでの会議はもはや常識に。でも、ロボットが料理を運ぶ飲食店には慣れそうにありません。

### 坪田 琴美

健診の時期になり、普段通りの生活をちょっとだけ心掛けて、いざ当日。身長は縮み、血圧は上がり・・・笑うしかないですね。

### 竹浪 大輔

11月に発行された新500円玉硬貨、早速金融機関で両替してみました。世界で初めて採用の外周斜めギザもすごいですが、上から見ると「JAPAN」下から見ると「500YEN」と見る角度によって文字が浮かび上がる「潜像加工」に感動しました。日本の技術すごいですね。

### 会津 郁哉

苦手な食べ物イカの塩辛に15年ぶりに挑戦しました。私にはまだ早かったです。15年後にまたイカの塩辛に挑戦してみたいと思います。

### 脳トレ答え

1. うでどけい
2. おとしだま
3. さかなつり
4. れいぞうこ
5. じどうしゃ
6. たまごやき
7. ゆでたまご
8. こんちゅう

## 赤い羽根共同募金運動 街頭募金

赤い羽根共同募金は法律に基づく募金として昭和22年に始まり、今年も10月1日より全国一斉に行われています。

10月5日板柳東小学校の6年生および5年生がいとく板柳店さんの入口で街頭募金を行いました。コロナ禍での活動ということで、マスクとフェイスシールドをつけて手袋をはめて感染予防対策をしながら、大きな声を出すこともなかなか難しい中、小学生はプラカードを手作りして募金を呼び掛け、大勢の方にご協力頂きました。

集まった募金の7割は地域のために使われ、残り3割は広域的な課題を解決するための活動に青森県内で使われています。



## ふれあい相談所

何処に相談したらよいか、誰に相談したらよいか、相談場所がわからない等どんなことでも相談員が対応いたします。

●相談日 毎月第2・第4火曜日

●時間 10時から12時・13時から15時

●場所 板柳町公民館

### 《秘密厳守》

●電話 0172-72-1161

☆お気軽に電話ください。

法テラス青森・青森県弁護士会・青森県社協が共同で実施する

## 「法律と生活に関する相談」

無料出張相談窓口のご案内

●開催日 令和4年2月21日

●時間 13時30分から16時

●場所 板柳町社会福祉協議会

※予約制となっておりますので令和4年2月17日までに中南地域総合相談窓口(藤崎老人福祉センター内)へお問い合わせ下さい。電話 0172-88-8637



## 社会福祉法人 板柳町社会福祉協議会

〒038-3661 北津軽郡板柳町大字福野田字実田11の7 TEL(0172)72-1161 FAX(0172)72-1170

ホームページ: <http://www.itayanagishakyo.or.jp> 印刷:株久保田印刷 TEL 0172-72-1212/FAX 0172-72-1213